

令和3年度 わたしのアイデアポスト一覧集



市役所1階総合案内に設置している「わたしのアイデアポスト」

弘前市企画部広聴広報課

も く じ

I 「わたしのアイデアポスト」とは	2
II ポストの設置場所など	2
III 令和3年度に寄せられた提案件数	3
IV 提案に対する回答	4
◆ 教 育	4
(学校教育、生涯学習についてのアイデア)		
◆ 文化・スポーツ	6
(文化、芸術、スポーツについてのアイデア)		
◆ 福祉・保健	8
(子育て、青少年、医療、保健、高齢者、障がい者、国民健康保険、 国民年金、介護についてのアイデア)		
◆ 産業・観光	10
(農林業、商工業、観光、物産、雇用についてのアイデア)		
◆ 都市基盤	11
(上水道、下水道、道路、交通、河川、住宅、都市計画、景観、公園 についてのアイデア)		
◆ 市 政	14
(窓口サービス、庁舎等管理、行財政運営、広聴、広報、情報公開、 情報についてのアイデア)		

I 「わたしのアイデアポスト」とは

「わたしのアイデアポスト」は、市の広聴事業の1つとして、市民の皆さんが気軽に市政に関するアイデアや意見を提案し、市政に参加できるよう設置しています。

この一覧集は、令和3年度に寄せられた提案の内容と回答などについてまとめたもので、これまで寄せられたアイデアと回答の内容を皆さんと共有するとともに、今後アイデアをお寄せいただく際の参考として、各アイデアポストに備えています。

ご提案は、次頁のとおり幅広い年齢の方からいただいております、また、市政の様々な分野に及んでいます。

現在、「わたしのアイデアポスト」は11ヶ所に設置していますが、直接投かんしていただくほか、インターネットやファクス、郵送でも受け付けています。皆さんからのアイデアや意見をお待ちしています。

II ポストの設置場所など

- ・弘前市役所総合案内
 - ・岩木総合支所 総務課
 - ・相馬総合支所 民生課
 - ・総合行政窓口（ヒロロ3階）
 - ・市民課城東分室（総合学習センター1階）
 - ・東目屋出張所
 - ・船沢出張所
 - ・高杉出張所
 - ・裾野出張所
 - ・新和出張所
 - ・石川出張所
- （合計11箇所）

○その他の提案方法

- ・WEB版・わたしのアイデアポスト
弘前市ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>

- ・ファクスや郵送

「わたしのアイデアポスト」と明記し、住所・氏名・年齢・電話番号を記入して広聴広報課へ。

（送付先）

〒036-8551

弘前市大字上白銀町1-1 弘前市広聴広報課広聴広報係

TEL 0172-35-1194 FAX 0172-35-0080

Ⅲ 令和3年度に寄せられた提案件数(令和3年4月～令和4年3月)

1. 寄せられた提案件数

(1) 月別件数

	3年度	2年度
4月	15	18
5月	4	21
6月	11	29
7月	7	17
8月	14	12
9月	13	14
10月	6	20
11月	9	9
12月	3	2
1月	8	5
2月	3	7
3月	6	20
合計	99	174

(2) ポスト別件数

	3年度	2年度
市役所庁舎	30	58
総合行政窓口	27	40
市民課城東分室	6	0
岩木庁舎	1	0
相馬庁舎	2	0
東目屋出張所	0	0
船沢出張所	0	0
高杉出張所	0	0
裾野出張所	0	0
新和出張所	0	0
石川出張所	0	0
WEB版	26	66
ファクス	0	1
郵送	7	9
持参	0	0
その他	0	0
合計	99	174

2. 提案内容別件数

関連部別件数(件数順)

	3年度	2年度
企画部	16	26
総務部	7	18
財務部	8	16
市民生活部	10	17
福祉部	10	16
健康こども部	16	16
農林部	3	5
商工部	2	10
観光部	11	43
建設部	5	5
都市整備部	9	31
岩木総合支所	1	0
相馬総合支所	0	0
会計課	0	0
市立病院	0	2
議会	0	0
上下水道部	1	1
教育委員会	13	6
選挙管理委員会	2	1
農業委員会	0	2
上記以外	2	0
合計	116	215

※複数の部に関連する提案があるため、他の合計件数とは一致しません。

3. 投書者に関すること

(1) 記名の有無

	3年度	2年度
記名あり	57	117
記名なし	42	57
合計	99	174

(2) 年齢

	3年度	2年度
10代以下	2	2
20代	2	7
30代	6	9
40代	14	33
50代	14	9
60代	7	8
70代	2	9
80代	0	1
記入なし	52	96
合計	99	174

(3) 居住地

	3年度	2年度	
市内	47	107	
市外	県内	5	6
	県外	2	20
記入なし	45	41	
合計	99	174	

IV 提案に対する回答

◆教育

1. 教育現場でも憲法を身近において考えるべきではないか

<p>提案内容</p>	<p>日本では誰でも自由にものを考え、行動できます。当たり前ですが、なぜ当たり前なのかを考えた事がありますか？</p> <p>個人の自由や人権を保障しているのが日本国憲法であり、私たちが大事にすべき「宝」です。</p> <p>終戦直後に配布された、一般や学童向けに新憲法を解説した冊子があり、読んでみました。</p> <p>「新しい憲法 明るい生活」には、<もう戦争はしない> <人はみんな平等だ> <義務と責任が大切> <女も男と同権> など、今でも大事な項目が並んでいます。「あたらしい憲法のはなし」は、文部省が中学一年用に作った教材のようです。</p> <p>今だと不適切な表現があるものの、今でも教材に適した「憲法のバイブル」です。憲法との距離は今よりもずっと近かったのではないのでしょうか？</p> <p>自由な社会にも課題があります。『自由とエゴは表裏一体(仲良し)』だと思いませんか？</p> <p>例えば「タバコを吸う自由」はあっても、「非喫煙者に煙を吸わせる自由」はありません。今は分煙に厳しいが、喫煙者が多かった昔は「非喫煙者の権利」は軽視されました。</p> <p>昨今「おしゃれの自由」を行使して、タトゥーを入れたり髪を染めている人は多い。しかし「不快感を覚える人の権利」についても考えるべきでしょう。</p> <p>海外に目を移します。コロナ禍でマスク着用が常識になりましたが、欧米では「マスクをしない自由」を掲げ、マスク着用を拒否する人々がいるそうです。マスク着用を禁じた店もできたとか。</p> <p>『迷惑の基準は人それぞれ』なので、「自分の物差し」では分かりません。「ひと様」や「ご迷惑」が日常語からあまり聞かれなくなり、不安です。「自由がない社会」は暮らしにくいですが、「エゴが多い社会」もきつと暮らしにくいはずです。</p> <p>教育現場においても憲法をいつも身近において、考えるべきではないのでしょうか？各学年の能力に応じて「憲法の理念やできた背景」を学び、「権利が衝突した場合はどうしたらよいのか」を有意義に話し合ってもらいたいです。</p> <p>『「個人の自由」と「他者への思いやり」の両立が理想』だと思います。</p>
<p>回答</p>	<p>お寄せくださった内容は、予測困難な時代を生きる子どもたちが、よりよい社会と幸福な人生を求めていく上で、大事なことであると捉えております。</p> <p>義務教育現場におきましては、教育基本法に基づき、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目指し、心身ともに健康な児童生徒の育成に取り組んでおります。</p> <p>日本国憲法につきましては、子どもの発達段階に応じて、小学校6年生と中学校3年生の社会科を中心に、憲法の理念について「国民主権・基本的人</p>

	<p>権の尊重・平和主義」を基本的原則としていることや、近代の人権思想の発展と広がりなどを踏まえた上で憲法成立の歴史的背景についても学習しております。</p> <p>また、人権につきましては、小学校において、人間が生まれながらにして持っている権利であり、一人一人がかけがえのない個人として尊重され、自分の意思で自由に生きることができるよう、憲法で保障されていることなどについて学習しております。中学校では、多くの人々が社会生活を送る上で、「秩序を乱すような自由や権利の利用は認められないこと」「人権は制限されることがあること」「このような人権の限界や制限を日本国憲法では、社会全体の利益を意味する『公共の福祉』と表現すること」等について学ぶとともに、権利が衝突した場合には裁判を受ける権利が保障されていることなどについても学習しております。</p> <p>他にも、道徳科では「親切・思いやり・感謝」「規則の尊重・遵法精神」「公正・公平・社会正義」等について考え、議論させたりすることを通して、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性や人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念などを養っております。</p> <p>各学校の工夫した取組といたしましては、法務局の人権擁護委員をグロブアルティーチャーとして差別や偏見、いじめなどをテーマとした出前授業などを行っている学校もございます。</p> <p>今回、ご提案いただいた内容につきましては、引き続き各学校が工夫しながら教育活動を進めていく中で、子どもたちの理解が一層深まるものと捉えております。</p> <p style="text-align: right;">【学校指導課】(令和3年9月15日回答)</p>
--	--

2. 津軽為信などの博物館を作ってほしい

提案内容	<p>弘前には歴史上の人物がたくさんいるので、津軽為信などの博物館を作ってほしいです。</p>
回答	<p>弘前市には「弘前市立博物館」と「高岡の森弘前藩歴史館」という2つの博物館があり、津軽為信をはじめとする弘前藩の歴代藩主や、津軽地域で起こった歴史上の出来事などを展示紹介しています。</p> <p>また、堀越城跡を紹介するガイダンス施設(旧石戸谷家住宅)では、津軽為信による津軽統一の過程と堀越城はどういうお城かを知ることができる展示があります(現在冬の休館中で、来春4月中旬に再開します)。</p> <p>弘前の歴史上の人物のことを多くの市民や観光客に知ってもらおうというのはとても重要な意見ですから、いただいた意見は、今後2つの博物館でどのような展覧会を行うかを考え決めていく時の参考にします。</p> <p>学校での「ひろさき学」で地域の歴史・文化や産業について学んでいると思いますが、弘前の生んだ歴史上の人物のことは『新・弘前人物志』でも詳しく知ることができます。ぜひ読んでみてください。</p> <p>これからも、皆さんが知りたいことを学ぶことができるように、学校や博物館などで協力していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【弘前市立博物館・高岡の森弘前藩歴史館】(令和3年11月30日回答)</p>

3. 小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル等の展示を

<p>提案内容</p>	<p>宇宙航空研究開発機構(JAXA)が実施している、小惑星探査機「はやぶさ2」帰還カプセル及びリュウグウサンプル展示の協力団体公募について (https://www.isas.jaxa.jp/topics/002915.html) 募集期間:2022年1月25日(火)~ 2月11日(祝・金) 『初代はやぶさ』のプロジェクトマネージャを務めた川口淳一郎さんの地元として、また川口淳一郎さんにつづくであろう子ども達の為に、ぜひとも展示への公募お願い致します。</p>
<p>回答</p>	<p>ご提案と情報提供をありがとうございます。 弘前市立博物館では、平成23年に特別企画展「はやぶさ—60億kmからの帰還」を開催したことがあります。 今回の提案に関しましては、館内で検討させていただきます。 今後とも、当館の運営にご協力をお願いします。 【弘前市立博物館】(令和4年2月4日回答)</p>

◆文化・スポーツ

1. 都市型スポーツ(スケボー)を楽しめる施設を作ってほしい

<p>提案内容</p>	<p>東京オリンピックで色々なスポーツが注目されていますが、特にスケートボードが楽しそうだと思います。 調べたところ、県内でボードができるのは八戸が中心のようですね。 我が家は子どもが生まれたばかりですが、将来気軽に都市型スポーツを楽しめるように市内に施設が1つでもあれば良いと感じました。 弘前市には大学生も多くいますので、始めてみたい潜在的な人数は多いのではないのでしょうか。 例えば屋外なら弘前公園の一部を専用パークにする等、是非ぜひご検討頂きたいです!</p>
<p>回答</p>	<p>スケートボードなどの都市型スポーツは、東京2020オリンピックでも注目度は高く、若い世代を中心に人気があるものと認識しております。 市では現在、利用者が安心して安全に体育施設を利用していただけよう、限られた財源の中で老朽化した体育施設の維持管理などの対応や、運動と健康を結び付けたスポーツ振興などについて取り組んでおり、一人でも多くの市民がスポーツや運動をする機会が増えることを目標に掲げております。 弘前公園は国の史跡であることや、降雪地域であるため、専用パークの整備や維持管理などには多額の費用が見込まれることから、ご提案の内容は慎重に検討する必要がありますが、様々なスポーツに触れる機会が増えることは、スポーツ人口の増加にもつながることから、一つのご意見として今後の参考とさせていただきます。 【スポーツ振興課】(令和2年8月12日回答)</p>

2. 乳幼児が屋内で遊べる有料施設を市営で作ってほしい

<p>提案内容</p>	<p>宮城県白石市にある『こじゅうろうキッズランド』のような、乳幼児が屋内で遊べる有料施設を市営で作って欲しいです。</p> <p>新青森県総合運動公園（青森市）にある『ふわふわドーム』は運動が苦手な子でも遊べて素敵です。</p> <p>ボヨンボヨン公園（新青森県総合運動公園の遊具広場にあるトランポリン型遊具）を作ってください。</p>
<p>回答</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>市では現在、利用者が安心して安全に体育施設を利用していただけるよう、限られた財源の中で老朽化した体育施設の修繕や維持管理などを行っております。</p> <p>乳幼児が遊べる屋内型遊具施設の新設についてですが、既存の体育施設の状況や利用者のご意見・要望等を考慮した上で慎重に検討する必要があると考えておりますので、一つのご意見として今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、ヒロ口3階に設置してある、概ね3歳から小学生の子どもを対象とした「駅前こども広場」には、県産材を使用したオリジナルの木製のおもちゃ・遊具やボールプール等を用意しており、天候を気にせず無料で遊ぶことができます。</p> <p>また、岩木山総合公園には個人利用の場合、無料でボール遊びなどができる「ちびっこアリーナ」がございますので、是非こちらもご利用ください。</p> <p>【こども家庭課・スポーツ振興課】（令和3年9月21日回答）</p>

3. 劇場を作ってほしい

<p>提案内容</p>	<p>劇場を作ってほしいです。</p> <p>他の市町村に行かなくてもよくなるので、便利になります。</p>
<p>回答</p>	<p>「劇場」といいますと、観劇ができる施設や映画館を指しますが、映画館は弘前市内にありますので、「観劇を鑑賞する劇場がほしい」というご要望と受け止めました。</p> <p>市では、弘前市民会館、弘前文化会館、岩木文化センターなどの文化ホールを管理運営しております。これらの文化施設は市民の皆様には音楽、演劇、美術等の発表および鑑賞の機会を提供し、文化の向上を図るために設置したものです。</p> <p>市内の文化ホールは専用劇場ではないため、演劇などの催しの回数が少なく、他の市町村にお出かけになる状況になっていることと存じます。</p> <p>令和3年9月に策定した「弘前市文化芸術振興計画」では、市民向けアンケート調査の結果、「身近に鑑賞の機会が少ない」との回答が多かったことから、市民の文化芸術の鑑賞・参加機会が不足していることを課題として、「多彩な文化芸術の鑑賞・参加機会の充実」を、基本目標の一つに掲げています。</p> <p>しかしながら、新しい専用劇場をつくるというのは財政的に厳しく、実現は難しい状況であります。</p> <p>今ある文化ホールや民間施設で観劇の機会をお楽しみいただきますようお願いいたします。</p> <p>【文化振興課】（令和4年1月6日回答）</p>

◆福祉・保健

1. 母子手帳交付時の妊婦連絡票・妊娠届について

提案内容	<p>母子手帳交付の際に必要な書類である妊婦連絡票もしくは妊娠届の流産・死産経験の欄に週数を書く欄を設けて下さい。</p> <p>以下、理由になります。</p> <p>当方、前回の妊娠時に妊娠18週での後期流産をし、死産届を提出しました。その後数ヶ月を経て妊娠が発覚し、母子手帳の交付の際に過去の妊娠に関する記載欄に流産もしくは死産にチェックをすることになりました。</p> <p>妊娠12週～22週未満の分娩は死産届は提出しますが、定義上は流産になります。</p> <p>そのため、当方流産にチェックをして提出しました。</p> <p>その後、母子手帳をいただく際に担当者が妊娠届をどう確認したのかは知りませんが「母子手帳は初めての交付ですね」から始まり、あたかも初めての妊娠でリスクも何もないかのように話を進められ、不快感は増す一方でした。</p> <p>流死産の項目は確認しないものなののでしょうか？</p> <p>それとも、流産は母子手帳を受け取る前に起きる事という固定観念があるのでしょうか？</p> <p>そんな方々に「何か不安なことがあれば、電話して下さいね」と言われても電話なんかしたくありません。</p> <p>前回の妊娠の悲しい出来事を掘り起こすのは倫理的にどうかと考える方もいらっしゃるかと思います。</p> <p>しかし、前回の妊娠の出来事が今回の妊娠にリスクがあるかもしれないと考えるのなら、考えられるリスクを事前に予測するために必ず聞くべきだと思います。</p> <p>治療を受けるのは病院ですが、出産後は行政が支援をすると銘打っているのであれば、必要なことだと思います。</p>
回答	<p>この度は貴重なご提案を頂きありがとうございます。</p> <p>母子健康手帳の交付時には、地域の中で安心して出産及び子育てをして頂くため、専門職が丁寧にお話を伺いながら適切な支援につなげるよう努めているところですが、対応についてご気分を損なう点がありましたことを大変申し訳なく感じております。</p> <p>面談の際、現在は青森県の様式である妊婦連絡票、市独自の様式である妊娠届やアンケート用紙を活用しながら、過去の状況も含めた産科的・社会的・精神的なリスクの有無や心配事がないか等を聞き取りしておりますが、流産・死産の経験、精神疾患の治療の有無や既往歴、家庭や生活の状況などについては、1回の面談では詳しくお話をお伺いすることが難しいと感じている部分でもございます。</p> <p>個々の状況に応じた細やかかつ切れ目のない支援を提供していくためには、適切な状況把握が必要であると認識しておりますので、様々なリスクの内容についても記入しやすいような様式の検討や、プライバシーに配慮した相談室の設置、対応する職員のスキルアップなどを図りながら、安心してお話をして頂ける</p>


	<p>ような環境を整備してまいりたいと考えております。</p> <p>【こども家庭課】(令和3年6月18日回答)</p>
--	--

2. 弘前市内の新型コロナウイルス感染者数を公表してほしい

<p>提案内容</p>	<p>今年に入り、弘前保健所管内の感染者数が他の保健所管内よりも多くなってきました。</p> <p>ご存知かと思いますが、弘前保健所管内は弘前市やその周辺市町村です。私は弘前出身ですが、周りの人から弘前保健所は弘前市だけだと思い込んでいて正直困っています。</p> <p>昨年、市長は、県の方針により市町村単位での公表はしないということでした。</p> <p>青森市と八戸市は保健所を置いているため、市単位での感染者数は公表できますが、弘前の場合ではできません。</p> <p>様々な問題があり市町村単位での公表を控えていると思います。</p> <p>市としてぜひ公表をしてほしいです。いつまでも県にしがみつくのはやめていただきたいです。</p>
<p>回答</p>	<p>弘前保健所は青森県が設置しているものであるため、陽性者に関する情報は県が管理しており、市が個人情報を含む陽性者の情報を取り扱うことはありません。</p> <p>新規陽性者の発生した市町村には、当該市町村における発生人数のみが提供されますが、これは市町村での独自の感染拡大防止対策や、イベント・行事等の開催可否を判断する等の参考として情報提供されており、非公表として取り扱うこととなっております。また、感染拡大防止の観点から公表する必要があると判断される場合には、必要に応じて関係市町村と協議の上、県が公表することとなっております。</p> <p>この公表基準は、県が県内全市町村の意向調査を行ったうえ定めたものであり、県の定めた基準については市としても遵守すべきものと考えておりますが、当市から県に対しましては、公表の可否について市町村が独自に判断できるよう要望しております。</p> <p>【地域医療課】(令和4年2月3日回答)</p>

3. コロナワクチンの予防効果の持続期間の周知を

<p>提案内容</p>	<p>青森市は市ホームページ『新型コロナウイルスワクチン接種に関するお知らせ』で、『ファイザー社製ワクチン(mRNAワクチン)、武田モデルナ社製ワクチン(mRNAワクチン)、アストラゼネカ社製ワクチン(ウイルスベクターワクチン)すべてにおいて本邦で特例承認されたものであり、承認時において長期安定性に係る情報は限られているため、製造販売後も引き続き情報を収集中であり、予防効果の持続期間は確立していません。』と告知しているの、同様に告知してください。</p> <p>大阪の枚方市も市ホームページ『(新型コロナワクチン)ワクチンの説明・副反応について』で、『これらのワクチンは、国において「特例承認」されたものであり、承認時において長期安定性等に係る情報は限られているため、現在も引き続き情報収集中のものとなっております。』と告知しています。</p>
-------------	--

回答	<p>貴重なご意見、誠にありがとうございます。</p> <p>ご提案いただいた内容に関連した新型コロナウイルスワクチンの情報について、当市のホームページに掲載いたしました。</p> <p>弘前市における新型コロナウイルスワクチン接種について (https://www.city.hirosaki.aomori.jp/corona_hirosaki/2021-0712-2019-465.html)</p>  <p>【新型コロナウイルスワクチン接種対策室】(令和4年4月6日回答)</p>

◆産業・観光

1. 弘前の桜は世界一であることをアピールするべき

提案内容	<p>NHKニュース番組で、弘前市長が「弘前の桜は日本一と自負している」とコメントしていましたが、それではだめです。</p> <p>弘前の桜は「世界一」なんです。</p> <p>知り合いの観光事業者が言ってましたが、青森県には世界一が三つある。「弘前の桜」と「青森ねぶた」と「十和田、奥入瀬、八甲田の紅葉」。</p> <p>だが生かし切れていないと。</p> <p>大型クルーズ船も寄港するようになってきました。</p> <p>世界一をアピールするべきです。</p> <p>私はメディア関係者にアピールし、これまで弘前の桜を「東北有数の桜の名所」から「日本有数の桜の名所」への格上げに尽力してきたと自負しているつもりですが、弘前の桜は世界一をアピールするべきです。</p> <p>桜の日本一＝世界一ではありませんか。</p>
回答	<p>当市の四大まつりの一つである「弘前さくらまつり」を魅力的に展開するなど、弘前のさくらが「世界一」であるという評価をしていただけるよう、引き続き、積極的にその魅力を発信してまいりたいと考えております。</p> <p>【観光課】(令和3年4月2日回答)</p>

2. 今年(2021年)のさくらまつりを第100回とすることを提案します

提案内容	<p>私のアイデアは、今年(2021年)のさくらまつりを第100回と数えるべきであるというものです。</p> <p>理由についてですが、今年(2021年)のさくらまつりは、第101回と各所で宣伝しています。</p> <p>しかし、昨年(2020年)の第100回は開催中止となったので、今年が第100回となるのが正しいのではないのでしょうか？</p> <p>第100回が中止となったにもかかわらずカウントするのであれば、戦争によって中止となった3回分(1944年～1946年の幻の第27回～第29回)もカウントしなければ、開催回数の整合性がとれないと思います。</p> <p>つまり、戦時によって中止となった3回についても、昨年のさくらまつりと同様</p>
------	---

	<p>に1回とカウントするのであれば1944年が第27回、1945年が第28回、1946年が第30回となり、第100回は2017年に迎えていなければなりません。</p> <p>逆に、昨年のさくらまつりを戦争によって中止となった3回と同様にカウントしないのであれば、2021年が第100回となるはずですが。</p> <p>これらのことから今年(2021年)のさくらまつりを第100回とすることを提案いたします。</p>
回答	<p>この度は弘前さくらまつりについてご提案いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>中止となりました2020年のさくらまつりにつきましては、直前まで準備を進め、100回目のさくらまつりとしてPR等も行ってたことなどを踏まえ、中止となったものの2020年を100回目のさくらまつり、2021年を101回目のさくらまつりとしているものです。</p> <p>戦争により中止となったさくらまつりについては、当時の資料が残っておらず、中止に至るまでの経緯やタイミング等が定かではないことから、まつりの回数には計上しないこととしております。</p> <p>今後も弘前さくらまつりが市民や観光客に親しまれ、長く継続していけるよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】(令和3年4月20日回答)</p>

◆都市基盤

1. 東照宮児童遊園を復活してほしい

提案内容	<p>東照宮横にあった公園を復活できないでしょうか？</p> <p>山王町の団地にあった遊具もなくなり、土淵川北横町緑地にあった遊具もなくなり、この辺りで遊ぶ場所が極端に減ったような感じがします。</p> <p>この辺りは新しい家も増えて、小さな子どものいる家庭も増えているので東照宮の敷地内で遊ぶ家族がたくさんいます。</p> <p>公園とまで言わなくても、滑り台1つだけでも復活できないものでしょうか？</p>
回答	<p>弘前市東照宮児童遊園は、遊具の老朽化が進み、重大事故の発生の恐れがあることや維持管理の費用の確保などの問題により、平成27年10月1日付けで廃止したものであります。</p> <p>現在は、東照宮本殿が国指定重要文化財であることから、市の文化財課が所管する施設となっており、施設全体の維持・保存が必要なことから、敷地内への公園の復活は難しいものと考えております。</p> <p>児童が気軽に外遊びができる施設といたしましては、城北公園のほか、近隣の児童館・児童センターがございますので、ぜひご利用ください。</p> <p style="text-align: right;">【こども家庭課】(令和3年5月7日回答)</p>

2. 弘前れんが倉庫美術館の駐車場を整備してほしい

<p>提案内容</p>	<p>文化芸術振興計画の吉井酒造の建物の駐車場も整備もいいと思います。 奈良美智展の時はクローク等、お弁当を買ってcafeなど販売も見ましたが、現在学生さん(小・中・高・保育園・大学など)の学校に支援頂いて花園にある教育委員会や西北地区、青森地区、八戸、むつ、十和田もバスを動かすとコースで皆さんに観てもらってりんご公園のお土産も多いので暖かい期間にコーディネートして動かしてみたらいいと思います。 おやつや飲み物、こづかいで持参、工夫して親子見学もいいです。</p>
<p>回答</p>	<p>このたびは弘前れんが倉庫美術館に関するご提案をいただき、ありがとうございます。 当美術館は、市民生活の一層の充実や文化芸術活動の推進を図るとともに、吉野町周辺が土手町や鍛冶町といった中心商店街等に隣接するため、まちなかにおける交流人口の増加や回遊性の向上による賑わいの創出についても整備目的としております。 このため、美術館に来館する市民や観光客が周辺の商店街や飲食街に立ち寄る機会を創出し、歩行者の回遊性を高めるという趣旨から、駐車場を設置せず、周辺の民間駐車場や公共交通をご利用いただくようご案内しているものであります。 今後も美術館をご利用の際は、周辺の商店街や飲食店も合わせてお楽しみいただければ幸いに存じます。 【都市計画課】(令和3年6月3日回答)</p>

3. 自宅前の道路を補修してほしい

<p>提案内容</p>	<p>家の前の道路に草が生えて、毎年除草剤をまいたり草を抜くのが面倒です。 弘前市の道路なので、草が生えている部分の補修をお願いします。</p>
<p>回答</p>	<p>現在、市内全域の道路において補修や除草が必要な箇所が多数あり、通学路や幹線道路および著しく通行の支障となっている箇所等について、優先度の高いところから順次対応している状況です。 ご要望のありました道路につきまして、現地の状況を確認しましたが、車両および歩行者の通行に支障となっていないことから、今後の状況を見ながら対応して参りたいと考えております。 ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力をお願いします。 【道路維持課】(令和3年8月11日回答)</p>

4. れんが倉庫美術館の前に親子で楽しめるオブジェを作してほしい

<p>提案内容</p>	<p>弘前れんが倉庫美術館の前に、十和田現代美術館のように親子で楽しめるようなオブジェを作してほしい。 外で遊んで「中も見ようか」となると思います。今は立ち寄る魅力が感じられません。</p>
<p>回答</p>	<p>弘前れんが倉庫美術館に収蔵する美術作品については、美術館の指定管理</p>

	<p>者から提案を受け、その作品について、市の附属機関である弘前市美術作品等収集選定委員会にて作品内容や価格の妥当性を審査し、承認いただいた後、市が取得しております。</p> <p>屋外展示に関するご提案については、まずは指定管理者にお伝えするとともに、今後の美術館運営の参考にさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】(令和3年9月30日回答)</p>
--	--

5. 運動公園の壊れた遊具を撤去し、大型遊具を設置してほしい

提案内容	<p>運動公園のこわれた遊具を撤去して下さい。子供たちが登ったりして危ないです。</p> <p>また、大型遊具の設置をお願いします。屋根があると、冬も遊べると思います。</p>
回答	<p>弘前市運動公園自由広場の遊具は、設置から40年以上が経過し、全体的に老朽化が進んでおります。その中でも、利用者の安全が十分に確保できないと判断した遊具については、順次撤去している状況にあります。</p> <p>大型遊具の設置につきましては、当該運動公園は、社会体育施設としてだけでなく、公園施設としての側面も有しておりますので、遊具の設置だけに拘らず、子どもから大人まで、より多くの方に利用していただけるよう整備を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ振興課】(令和3年9月30日回答)</p>

6. 地域連携ICカードの導入について

提案内容	<p>今年、青森市と八戸市で地域連携ICカードが導入されます。</p> <p>地域連携ICカードとは、定期券や各種割引など地域独自のサービスに加え、JR東日本のSuicaとしての機能を持つサービスとなっております。</p> <p>弘前市は導入の動きがありませんが、弘南バスやデマンドタクシー等を運行している市内のタクシー会社と連携して導入するようにしてほしいですが、現状導入する予定はありますか？または検討しているのでしょうか？</p> <p>弘前市は青森市と八戸市に比べ、多くの観光客が訪れます。そんな中でいまだにICカード乗車券が利用できないと不便のように感じます。また、コロナ禍の中で現金よりもキャッシュレスを利用する人が多くなっています。</p> <p>そんな中で利用できないのは相当つらいです。</p> <p>改めて、市として民間事業者と連携して地域連携ICカードを導入する予定があるのかお答えください。</p>
回答	<p>路線バスをはじめとする公共交通の利用促進を図るためには、複数の公共交通機関を一体的な運賃体系にしたり、割引制度を導入したりするなど、利便性を高める交通系ICカードの導入は有効であると考えられることから、当市では平成28年5月に策定した弘前市地域公共交通網形成計画にも掲げ、研究してきたところです。</p> <p>一方で、弘前市内を運行する路線バスは、市内路線のみならず周辺市町村をまたがる路線があり、すべて弘南バス株式会社が運行している上に、車両それぞれが様々な路線を走って津軽地域の路線バスネットワークを維持していま</p>

	<p>す。</p> <p>このため、路線バスへのICカード導入については、弘南バス株式会社と津軽地域の関係市町村が一体となって取り組む必要があるほか、非接触型決済により新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減し、安全で便利な公共交通サービスを提供できることから、関係機関で検討を進めているところです。</p> <p>なお、路線バスの代わりに運行している乗合タクシー（デマンドタクシー）への導入については、路線バスへの導入の動向を踏まえて検討することになります。</p> <p style="text-align: right;">【地域交通課】（令和4年2月3日回答）</p>
--	---

7. 温泉に直行できる車の便を運行してほしい

提案内容	<p>津軽には素敵な温泉が沢山あるのに、車の運転ができない高齢者には足がないとなかなか行けません。</p> <p>週1度なり、温泉に直行できる車の便を回してもらえないものでしょうか。</p> <p>黒石温泉や嶽・百沢温泉の活用をぜひぜひお願いします。</p>
回答	<p>弘前周辺には、黒石温泉郷や、岩木山麓の嶽温泉郷、百沢温泉郷など数多くの温泉地がございます。</p> <p>いずれも弘前市内からですと、下記のとおり路線バスや鉄道でのアクセスが可能となっております。</p> <p>路線バスや鉄道の詳しい時刻等は、各事業者へお問い合わせいただきますようお願いいたします。</p> <p>【弘前市内から黒石温泉郷（温湯温泉）までのアクセスの例】</p> <p>弘前市内 → 路線バス乗車 → 弘前駅下車 → 弘南鉄道弘南線乗車 → 黒石駅下車 → 路線バス（黒石～温川線）乗車 → 温湯バス停下車</p> <p>【弘前市内から嶽温泉郷又は百沢温泉郷までのアクセスの例】</p> <p>弘前市内 → 路線バス（弘前～枯木平線）乗車 → 百沢温泉前バス停または嶽温泉前バス停下車</p> <p>●路線バスに関する問い合わせ先 弘南バス株式会社 弘前バスターミナル総合案内 0172-36-5061</p> <p>●鉄道に関する問い合わせ先 弘南鉄道株式会社 0172-44-3136</p> <p style="text-align: right;">【地域交通課】（令和4年3月23日回答）</p>

◆市 政

1. 弘前市の魅力発信について

提案内容	<p>弘前市にはたくさんの魅力があるので、もっと全国に魅力を発信する必要があると思います。</p> <p>現在は、弘前ポスター展や移住を応援したりと、取り組みをされていますが、自然や特産物、イベント等をまとめ、もっと弘前の良さをPRしていくべきだと思っています。</p> <p>例えば、青森県の祭りを集めてイベントをしたり、伝統工芸品を集めた展覧</p>
------	---

	<p>会などです。</p> <p>今はコロナ禍で、全国に発信することは難しいと思っておりますが、行っている取り組みや、これから行おうと考えている新しいことはありますか？</p> <p>東京などよりも通勤時間が短かったり、便利なところはたくさんあると思いますが、若者が県内にとどまり、弘前で暮らし、働くことのメリット、デメリットはどんなことだと考えていますか？</p> <p>また、魅力を発信するために、私たちにできることがありましたら教えてください。</p>
<p>回答</p>	<p>この度は、弘前市の魅力発信に係るご提案をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>①今はコロナ禍で、全国に発信することは難しいと思っておりますが、行っている取り組みや、これから行おうと考えている新しいことはありますか？</p> <p>当市の多くの魅力を国内外に積極的に発信することは、観光、農業、商工業のほか移住・定住の面で効果的であり、大変重要であると考えています。</p> <p>現在取り組んでいる魅力発信としましては、公式SNS上で、当市の魅力を写真や動画などにより日常的に情報発信するほか、津軽三味線や津軽笛などの伝統芸能や当市のまつりなどの紹介、市民参加型で当市の冬の魅力を発信する「インスタグラムキャンペーン」などを実施しております。</p> <p>また、県内10市の祭りや食、物産が一堂に会する「あおもり10市(とし)大祭典」への参加、「東京インターナショナル・ギフト・ショー」へ青森県と共に参加し津軽塗の商品を売り込むほか、昨年は、一般の方がオンラインで参加する津軽塗の研ぎ出し体験や工房訪問を開催するなど、様々な取組を実施しております。</p> <p>②若者が県内にとどまり、弘前で暮らし、働くことのメリット、デメリットはどんなことだと考えていますか？</p> <p>当市で暮らすことのメリットは「春の桜、夏のねぶた、秋の紅葉、冬の雪等により、四季の移ろいがはっきり感じられること」「中心市街地では商業施設、スポーツ施設、医療機関、子育て施設、教育機関等が充実して便利な一方、郊外では豊かな自然に触れられること」「(地元出身者の場合)住み慣れた環境で、家族、知人等の近くで暮らすことができること」などが考えられます。</p> <p>また、当市で働くことのメリットとしては、「農産物などの地域資源や、地元の企業・大学等で開発された技術を応用した分野に関連した都市部にはない仕事に就けること」、「ワーク・ライフ・バランスが取れた働き方ができる環境の企業が比較的多いこと」など、働くことを通じて地域に貢献できる仕事があり、休日にはふるさとの文化や歴史を感じられる活動に参加することも魅力の一つです。</p> <p>その一方でデメリットとしては、「都市部に比べると業種・職種が限られることから、希望の業種・職種の企業への就職が果たせない可能性があること」、「都市部に比べて(生活費や住居費が異なるので一概には言えませんが)給与水準が低い傾向にあること」などが考えられますが、令和の新しい時代では、多様な働き方が進むことで、こうした課題を克服できる可能性があるのかもしれない。</p>

	<p>令和3年度は、学生と企業とのマッチングを更に強化するために、学生が求めている企業情報を発信する仕組みづくりに取り組むほか、「若者が企業に求めること」と「企業が若者に求めること」を相互に共有できる環境づくり、さらには若者のUターンに対する重点的な支援のため、移住支援金の制度拡充等に取り組む予定としております。</p> <p>③魅力を発信するために、私たちにできることがありましたら教えて頂きたいです。</p> <p>移住ポータルサイト「弘前ぐらし」において、当市にお住まいの方が市民ライターとなり日常生活(=弘前ぐらし)の魅力を発信するほか、令和3年度はSNSを活用して当市の魅力を発信する市民を養成する事業も開始予定です。</p> <p>上記の事業に参加いただくこともできますが、市では市民との協働によるまちづくりを行ううえで、市民の主体性を大事にしたいと考えております。</p> <p>市民が自ら考え、行動し、実践していく活動を支える取組を用意しておりますので、ぜひ個別にご相談いただければと思います。</p> <p>【企画課・広聴広報課・商工労政課】(令和3年4月9日回答)</p>
--	---

2. 市役所内に座面の高いイスを設置してほしい

<p>提案内容</p>	<p>所用があり来庁しております。座り心地の良いフカフカのイスもあり助かります。</p> <p>しかし、座面が低いため、私のように足の不自由な者はとても座りにくいです。</p> <p>もう少し座面の高いイスはおけないのでしょうか？</p> <p>又、このような用紙を書く所にもイス等がありません。</p> <p>どちらもどうにかならないのでしょうか？</p>
<p>回答</p>	<p>このたびは、お身体の不自由な方への配慮が不足し、大変申し訳ございませんでした。</p> <p>市役所内待合スペースやアイデアポスト記載台に、座面の高いイスや、その他足の不自由な方も利用しやすいイスを設置することについて検討してまいります。</p> <p>【管財課・広聴広報課】(令和3年5月7日回答)</p>

3. NHK文化センターの会議室等の利用について

<p>提案内容</p>	<p>2021年3月末でNHK文化センターの講座がすべて終了し、今閉館になっています。</p> <p>その会議室、研修室、ホールなど市民が利用できるようにご検討いただきたくお願いします。</p> <p>3年前に参画センターが閉館、21年4月からは文化センターが改修のため、2年間利用中止になり、それまでさまざまな会議、研修、サークル活動などに使われてきましたが、現在その活動の場が極端に少なくなり、一市民として困っているのが現状です。</p> <p>ヒロロは混み合い、予約を取るのも難しく、まちなか情報センターの2階も会議には適しておらず、いわゆる土手町界限、市役所近辺には集会、会議等を行</p>
-------------	---

	<p>う場所がありません。</p> <p>NHKは、利用者にとっても交通の便も良く、室数も多く、運動もできるホールもあるので利用しやすいと思います。</p> <p>ずっと続けてきた活動を、これからも継続していくためにも利用できる場所が必要です。</p> <p>是非、市として借り上げするなどし、市民が利用できる方法を考えていただきたいと思います。</p> <p>私たちの切なる願いをご検討下さるようお願い申し上げます。</p>
回答	<p>弘前文化センターの休館に伴う代替施設等についてお答えいたします。</p> <p>弘前文化センターは、長寿命化改修工事のため、令和3年4月1日より2年間の予定で休館しております。</p> <p>利用者の皆様にはご不便をおかけしておりますが、弘前文化センターを将来にわたって安全で快適にご利用いただくため、老朽化した設備・内装等を更新するものであり、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p> <p>代替施設に関するご相談には、文化振興課及び中央公民館にて個別に対応しているほか、市のホームページや施設内掲示板にて、弘前文化センターの各会議室・ホールの規模と同程度の市内公共施設の一例をご紹介します。</p> <p>このたび、NHK文化センターの閉館時期が弘前文化センターの休館と重なったことで、活動場所を求める皆様にご不便をおかけしていることと存じますが、当課所管の施設として百石町展示館、市民会館が市内中心部にありますので、代替施設として民間施設を借り上げるのではなく、既存の施設をご活用いただきたいと考えており、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【文化振興課】(令和3年5月7日回答)</p>

4. 旧第一大成小学校跡地の活用について

提案内容	<p>旧第一大成小学校跡地活用についてお尋ねします。</p> <p>1. 乳幼児用の遊具の建設予定はありますか？</p> <p>2. トイレは何部屋を設置する予定ですか？オムツ交換スペースを備えた個室トイレ、障害者用トイレ、乳幼児用の背の低いトイレの設置は予定していますか？</p>
回答	<p>旧第一大成小学校跡地は「健康づくりのまちなか拠点」の外部空間として整備し、健康寿命の延伸や中心市街地の活性化を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>遊具やトイレなどの具体的な機能については、今後、関係団体等の意見を伺いながら設計業務において整理することとしており、多くの市民等に快適に利用していただけるよう、いただいたご質問の主旨も踏まえながら検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【企画課】(令和3年9月14日回答)</p>

5. アイデアポストはどのような経緯でできたのか

<p>提案内容</p>	<p>提案ではないのですが、『わたしのアイデアポスト』はどのような経緯で出来たのか、教えていただきたいです。 発案された方、それを実現した弘前市は素晴らしいと思います。</p>
<p>回答</p>	<p>「わたしのアイデアポスト」は、昭和59年度に「市民アイデアポスト」という名称で、当初は市民を対象として、広く市政に関するアイディア・意見等を市民の声として受けとめ、市政運営に生かすことを目的に実施しました。 平成13年度からは市民であるか否かを問わず広く意見を募ることとし、「市政アイデアポスト」に名称変更し、平成19年度からは現在の「わたしのアイデアポスト」に名称変更し、広聴事業の一つとして実施しています。 ご提案があった場合には、関係課に情報提供し、今後の市政運営に役立てています。 ポストは市役所、岩木総合支所、相馬総合支所、市民課駅前分室（ヒロ口3階）、市民課城東分室（総合学習センター1階）のほか各出張所の11ヶ所に設置しており、ポストへの投書のほか、ファクス・郵送・市ホームページでも提案を受け付けています。 今後も市政発展のため、様々なご意見・ご提案をお待ちしております。 【広聴広報課】（令和3年9月13日回答）</p>

6. 廃校を有効活用してほしい

<p>提案内容</p>	<p>廃校を有効に活用してほしい。 例えば、冬は子供たちが遊ぶ所がないので、体育館を開放して運動不足解消させてあげたい。</p>
<p>回答</p>	<p>市では、市民の財産である公共施設を適切な維持管理のもと長期的な視点で有効に活用しながら、市民サービスの維持・向上を図ることを目的に、「弘前市公共施設等総合管理計画」に基づいて、遊休施設の利活用などに取り組んでいます。 廃校などのうち再活用できるものについては、新たな公共利用を検討するほか、地域や民間事業者の皆さんの意見も伺いながら利活用策を検討しています。また、老朽化で安全に使用できないものや他の公共用途での使用に適さないものは、建物の解体や売却を進めています。 最近では民間事業者に売却した廃校が体育施設として活用されている事例もありますので、ご提案につきましては、市が所有している廃校の老朽状況等も勘案しながら、利活用策の一つとして参考にさせていただきます。 【管財課】（令和3年9月30日回答）</p>

7. 苦情箱を作っては

<p>提案内容</p>	<p>苦情箱を作って 汚いことができなくなるようにしては。</p>
<p>回答</p>	<p>ご提案ありがとうございます。 市政運営に対する苦情については、各担当課で随時受け付けているほか、本事業「わたしのアイデアポスト」でも投書を受付しております。</p>

	<p>市政運営に関するご提案やご意見の他、お困りの事などございましたらアイデアポストへお寄せください。</p> <p style="text-align: right;">【広聴広報課】(令和4年1月5日回答)</p>
--	---

8. 市民課城東分室でも固定資産の各種証明書を発行してほしい

提案内容	<p>市民課城東分室でも固定資産の評価証明書が発行できるので、評価通知書と家屋証明書も発行してほしい。</p>
回答	<p>市民課分室では市税の証明に関する事務を取り扱っており、固定資産税の証明書(資産・評価・課税)を発行しています。</p> <p>評価通知書(地方税法第422条の3による評価価格通知書)は、市から青森地方法務局弘前支局に対して評価額を通知する文書です。当該年度における固定資産課税台帳の登載内容をシステムから一律に出力できる証明書とは異なり、登記の内容に応じて評価額を算定、通知するため、固定資産評価に携わる職員が常駐している資産税課でのみ取り扱っています。</p> <p>また、家屋証明書(登録免許税軽減のための住宅用家屋証明書)は税の証明ではなく、システムにも対応していないこと、申請内容を全て確認する必要があるため、市民課分室では取り扱っておりません。</p> <p>今後、人員配置やシステムの見直し等により書類発行が可能となるよう研究してまいります。</p> <p>なお、いずれの書類も郵送での申請を受け付けておりますのでご利用ください。</p> <p style="text-align: right;">【資産税課・市民課】(令和4年1月21日回答)</p>

9. 弘前でもフジテレビ系の電波を受信できないか

提案内容	<p>テレビ視聴に関してです。</p> <p>青森市や六ヶ所村では、地上波を見ると北海道と岩手県の電波でフジTV系が視聴できます。</p> <p>弘前でも秋田県の電波を受信できるよう、秋田のテレビ局にお願いできないでしょうか。</p>
回答	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>民間の放送局の放送エリアについては、各局の判断によるものですので、市から働きかけることは難しい状況です。</p> <p>現在はインターネット上でフジテレビ系列の番組を視聴できるサービス等も提供されておりますので、そういったサービスの利用もご検討いただけましたら幸いです。</p> <p style="text-align: right;">【広聴広報課】(令和4年1月31日回答)</p>

10. ウクライナの避難民を弘前市で受け入れてほしい

提案内容	<p>ご意見失礼致します。</p> <p>ニュースを見るたびに今の世の中はコロナやら戦争やらで大変な事になっておりますが、ウクライナの非難民の方を弘前市でも受け入れて欲しく思っております。</p>
------	--

	<p>す。</p> <p>パートナーの実家は農家で、今は高齢化や人手不足で大変なので、家族みんなで話し合いをし、家は同居になります。受け入れを歓迎したいと思っております。</p> <p>他の農家の方も同じ事を言っておりました。</p> <p>双方（ウクライナの方）も宜しければご検討願います。</p>
<p>回答</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>昨今のウクライナ情勢のニュースや、農家の人手不足問題に心を痛めてのご提案と受け止めております。</p> <p>避難民の受け入れに関しては、まず国の判断が必要となることから、現時点で市として具体的な回答はいたしかねますが、今後も国や県などの動向も踏まえながら、情勢を注視してまいります。</p> <p>今後とも、市政運営へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【広聴広報課】（令和4年3月24日回答）</p>